

学校だより

2022.12.1

第9号

# 志こころざし



## 適度な緊張の中で力が生まれる！

師走となりました。11月末の暖かさから一気に冬がやってきた感じです。相変わらず、新型コロナウイルス感染者も高止まりしており、楽しい年末年始を健康に過ごせるようにと願うばかりです。

本校は先月の「学習発表会」を最後に、今年度の主要な学校行事を無事に終えています。後は、なわとび大会や学校最大の行事「卒業証書授与式」などを残すところとなりました。学習発表会では、雨音により子どもたちの声がかき消されたり（特に、最初の3年生4年生の発表時）6年生の発表前にICT機器の不具合があったりとアクシデントもありましたが、子どもたちはできることを精一杯伝えていました。教職員のふり返りでは、「『伝える』ことを目的とするならば、最初からマイクの使用も考慮すべきではないか。」との意見がありました。途中で、スタンドマイクのセッティングを行いました。子どもたち（特に低学年）にとっては、練習していないことを急に入れることへの対応は難しいです。来年度の「学習発表会」がよりよいものとなるように、我々教職員も保護者・地域の皆様の貴重なご意見ご感想を元に、しっかりとふり返っていきます。

さて、学習発表会を終えた子どもたちから「ああ、緊張した。」という言葉が多く聞かれます。「全然、緊張せんかった。」という強者もいます。「緊張」とは、どのような意味があるのか調べてみると、ウィクショナリー日本語版には4つ書かれていました。①心身が引き締まること。②心が張りつめて思うように行動できなくなる。あがること。③両者の関係が悪化し、争いが起こりそうなこと。④筋肉が収縮状態を持続していること。私が注目したいのは、①②です。私から見ると、①②は相反しているように感じます。①⇔②のようなイメージです。学習発表会当日までの練習風景を参観する機会がありました。本番の様子と比較したときに、「数日間成長したな。」と感じることが多々ありました。練習時に詰まっていた台詞を堂々と伝えている様子、練習時には自信なさげに伝えていた顔つきが堂々と見える様子など。「適度な緊張」が子どもたちを成長させているのではと思います。先月11日（金）に3年ぶりに開催された小中学校音楽会も同じです。仲間と同じステージに立つことで「適度な緊張」があったはず。その緊張の中、子どもたちは見事に最後まで演奏しました。我々大人でさえ、緊張を乗り越えたときに達成感を感じることがあります。「適度な緊張の場」として「学習発表会」が、大きな成長の場となっていることは確かです。来年度も、子どもたちが成長できる場として継続していきたいと考えます。



## 3年ぶりに開催！小中学校音楽会

11月11日（金）に久しぶりの「第68回小中学校音楽会」が開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症防止のため、浜中校区・二中校区の2部制および保護者公開なしという例年と異なった形での開催となりました。演奏会后、「緊張したけれど演奏できてよかった。」「中学校の演奏がすごかった。」など子どもたちの満足している様子がうかがえました。チャンネル0の放映日は下記のとおりです。ご覧ください。

12月10日（土） 10:30～ 13:30～

12月11日（日） 10:30～ 13:30～

12月30日（金） 13:00～

12月31日（土） 11:00～



### 本校の人権週間スローガン

～友達や家族をたいせつにして、仲良く過ごそう！～

本校では、生活委員会が話し合って決定したスローガンの下、11月28日（月）～12月9日（金）までを人権週間として取組を行っています。11月30日（水）は、大休みを使って6年生が企画した「人権縦割り遊び」（全校かくれんぼ大会）をしました。見つかったら鬼になっていくルールです。見つかった時点で放送を使ってその子のいいところを発表します。「やさしい」「かっこいい」「かわいい」「足が速い」など聞こえました。褒められた子にとっては、嬉しい言葉です。今回は、じっくりその相手を観察する時間もなくなり、「いいところを教えてください。」だったので「かわいい」「かっこいい」などの言葉が出てきたのかもしれませんが、人権週間だけでなく、人権に関して私が常々子どもたちにつけてほしい「資質能力」と感じていることは、「多様性を受け入れる度量」と「合意形成を図れるコミュニケーション力」です。「〇〇さんって苦手だな。」「△△さんって好きじゃないな。」そう決めつけて心を閉ざしてしまう前に、じっくりとその相手と向き合ってほしいと思います。難しいかもしれませんが、いいところを1つでも多く発見してほしいと思っています。



内外海小HP